

彩雲 2016

第 7 号 平成 28 年 6 月 2 日

発行者 仁賀保高校広報委員会

バスケットボール部

◎支部総体報告

トーナメント一回戦 敗退

仁賀保 20-99 秋田高校

◎全県総体の日程・場所

トーナメント一回戦 対 小坂高校

日程 6月4日 10時半～

場所 横手市増田体育館



◎主将から反省と意気込み

支部総体では落ち着いてプレーができなく相手のプレーのまま試合が終わってしまい残念な結果になってしまいました。全県総体ではチーム一丸となり、強い気持ちで臨みまずは一勝をあげれるようにプレーしてきます。

◎顧問の先生から反省と意気込み

最も残念だったのは試合前からメンタルの弱さが見えたことである。対戦相手が格上であることは承知の上で「何とかしてやろう」とか「食いついていこう」とかの気概がなかった。終了間際の数分間でいくぶんの抵抗ができたのは唯一の好材料といえるが、なぜ最初からその力を出せなかったのだろうとか悔やまれる。全県総体までにはチーム全員が「戦う集団」に成長してほしい。自分たちに足りなかったものを考え、やるべきことを判断し、己に打ち克つ練習・行動を積み重ねていくことでしか、勝利はつかみとれない。



◎取材を終えての感想

全県総体では、最初からもてる力を全部出してがんばってほしいです。

< 3 B 広報委員 木村・小松 >

